

公演における理想の情報保障を考える

〔聞こえない聞こえにくい方にむけて〕

どんなお客様にも劇場での時間を楽しんでいただくために必要なことはなんでしょう。障がいがあってもなくても同じように観劇を楽しむために、鑑賞サポートの重要性や実践例などを学びながら理想的な情報保障について考えます。

9月15日〔月・祝〕14:00－16:00

那覇文化芸術劇場なはーと〔IF〕小スタジオ

【無料（要事前申込）／定員 30 名】

※会場は靴を脱いでいただく可能性がございます。※車いす席あり

山崎有紀子／やまさき・ゆきこ

アクセシビリティアドバイザー、聞こえない舞台ファン
舞台芸術アクセシビリティに関する執筆・発信活動、障害当事者の舞台ファンコミュニティ運営、アドボカシー活動、字幕のクオリティチェック等を通じて、誰もが共に楽しむ舞台芸術の実現を目指している。

川村美也／かわむら・みや

手話指導者

生まれつき聴覚障害があります。手話は私にとって、大切な「ことば」のひとつです。手話でメッセージを届ける立場として、一つ一つの動きを大切にしています。声がなくても、見て感じてもらえる時間になれば嬉しいです。

登壇者

渡久地準／とぐち・ひとし

UDトーク

1981年沖縄県那覇市生まれ。金融系企業に勤務。17歳時に両耳の聴力を喪失後、人工内耳を装着。文字と聴覚サポートを必要とする難聴者としての立場から、沖縄県内の聴覚に関するアクセシビリティ向上に向けて、様々な分野で活動中。特に、デジタル技術を核とした情報支援・聴覚補償の実践と啓発をライフワークとして取り組んでいる。舞台・観劇等の芸術鑑賞は生活に欠かせない趣味の一つとして、日常的に楽しんでいる。

南部充央／なんぶ・みつお

一般社団法人日本障害者舞台芸術協働機構 代表理事

2001年より国際障害者交流センターでの事業に携わり、障害者も参加できる舞台芸術の企画制作・運営に従事。アニメーション字幕開発、遠隔音声ガイドシステム企画など鑑賞支援サービスを推進。2021年よりインクルーシブ野外音楽フェス「BEYOND MUSIC FESTIVAL」開始。現在、TOKYO FORWARD 2025『黙るな 動け 呼吸しろ』アクセシビリティアドバイザー、全国公立文化施設協会コーディネーター。著書『障害者の舞台芸術鑑賞サービス入門』（NTT 出版）。

主催：那覇市 企画制作：那覇文化芸術劇場なはーと、合同会社 syuz'gen

助成：文化庁文化芸術振興費補助金（地域の中核劇場・音楽堂等活性化事業）| 独立行政法人日本芸術文化振興会



【情報保障】

- ◇手話通訳：舞台上の話者の発言を手話通訳でお伝えします。
- ◇UD トーク：コミュニケーションの「UD＝ユニバーサルデザイン」を支援するためのアプリを利用し、話者の発言を文字にてお伝えします。当日はスクリーンでの表示と、お持ちのスマートフォンからQRコードでアクセスし、お手元でも確認いただけます。
- ◇ヒアリンググループ席：磁気コイル付補聴器・人工内耳を装用の方に舞台音声を直接届ける装置です。（補聴器をお持ちでない方には専用受信機の貸出あり）

【参加申込方法】右QRコードより申込フォームにてお申し込みください。

【問合せ】

那覇文化芸術劇場なはーと〔受付時間：10:00－19:00 ※第1・3月曜の休館日除く〕

〒900-0015 沖縄県那覇市久茂地 3-26-27

電話：098-861-7810 / メール：kikaku-nahart@city.naha.lg.jp

WEB：https://www.nahart.jp



手話通訳



UDトーク



ヒアリンググループ



車いす席



申込フォーム